

# 平成28年度 岩手県立杜陵高等学校経営計画

校長名：佐々木和哉

1 現状把握及び将来展望	対 象			
	児童・生徒	保護者	地域住民	他 (ex. 進路先)
	○自分が抱える課題への理解と自立に必要な教養や技能の習得 ・学力の定着、向上 <b>わかる・できる・使える</b> ・進路希望の実現 ・充実した学校生活	○学校生活を継続し高校を卒業すること ○対人関係の習熟や生きる力の習得などによる社会に適応できる人間への成長 ○進路希望の実現	○働きながら学ぶ学生の教育を担う学校 ○多様な生徒が社会に適応できる教育を実践する学校 ○社会に貢献できる人間を育成する学校	○社会人基礎力や人生設計力、社会適合性、礼節、コミュニケーション能力など社会で求められる、必要な資質の育成
(2) 学校に影響を与える変化	<p>●<b>生徒個々が抱える多様な事情</b> 心身の発達状況に何らかの課題を抱え特別な支援を必要とする生徒、家庭事情による不安を抱える生徒等</p> <p>●<b>定時制・通信制生徒の質的变化</b> 勤労生徒の減少、不登校経験のある生徒や特別な支援を必要とする生徒の増加、問題行動等により中途退学した生徒の入学、生徒の低年齢化</p>			
(3) パートナーとの関係	パートナー			
	P T A	教育委員会	他 ( 地域等 )	
	・教育活動全般には理解があり協力的であるが、活動へ参加する保護者は少数 ・通信制にはF T Aを組織した F =Family	・教育品質向上に係る情報提供と指導助言 ・訪問指導等による授業研究会の支援 ・教育環境の整備	・本校の特性を理解していただき、生活・行動面での協力と支援をいただいている (町内会・警察等)	
2 目指す学校像 生徒個々の課題に対応する教育実践の先進校 進んで挨拶ができ、明るく元氣な杜陵高校生	<p>◎生徒個々の特徴、習熟度及び困り感を把握し、目標に向かって精一杯がんばる一人ひとりを前に進ませたい、「何か」を変えたいという思いを教員間で共有し、生徒をゴールへ導く適切な指導、効果的なアドバイスを教員チーム全体で考え、全職員の叡智を結集して実践する。</p> <p>◎自立した行動ができ、社会で通用できる生徒を育てる。生徒が生き生きと動ける場を与え、経験させることで、謙虚な態度の中に、主体的に行動でき、自分に誇りと自信を兼ね備えた人材を育成する。</p>			
3 今後の取組方針	<p>◎<b>生徒個々の課題に対応した教育の実践と教育相談の充実</b></p> <p>①生徒個々の課題に係る情報を共有し、教育相談や生徒指導の充実を図る。 ②沿岸部出身生徒の状況を把握し、幼少期に被災した生徒に十分留意して個々に対応し寄り添う。 ③特別支援学校のセンター機能の活用と外部機関との連携を図る。 ④特別支援教育に係る校内研修会を実施し、校外研修会から得た情報を共有する。</p> <p>◎<b>社会に通用する総合生活力と人生設計力を基とする生きる力の育成</b></p> <p>①習熟度や困り感を把握し、個に応じた指導を実践し、生きる力を育成する。 ②「学習評価」の研究を進めるとともに、「進歩の評価」を行い自己有能感・有用感を醸成する。 ③授業力向上や学習評価に関する校内研究に積極的に取り組むとともに、校外の教員研修講座を積極的に受講し、その成果を共有する。</p> <p>◎<b>きめ細やかな進路指導による進路希望の達成</b></p> <p>①生徒個々の進路目標の実現を図る＝進路指導の目標はあくまでも「全員合格」。 ②心身の発達段階に応じて成長を支え、生徒の各段階に必要な進路学習を行う。 ③個々の進路目標を把握し、その達成のための進路研究と対策立案を具体的にを行い、実践する。 ④考えを表現できる生徒、筋道を立てて表現ができる生徒を育てる。</p> <p>◎<b>明朗な学校生活と生活指導による人間形成の充実</b></p> <p>①節度ある言動と品位ある生活態度を確立し、明朗な学校生活に参加する喜びを醸成する。 ②生徒情報の共有化と日常的な啓発運動により問題行動の未然防止と環境の整備をはかる。 ③生徒の実態を把握しながら就労をすすめ、豊かな人間性、職業観・勤労観の醸成をはかる。</p> <p>◎<b>魅力ある学校づくりと開かれた学校づくり</b></p> <p>①挨拶指導、環境美化を発展し、来校者を気持ちよく迎える学校づくりを行う。 ②ホームページの整理と更新を、時宜をとらえて効果的に行い、有効活用を図る。 ③ボランティア活動などを通し奉仕の精神、社会の一員としての自覚と自己有用感の醸成を促す。 ④保護者や地域の中学生や地域の人たちへの情報を発信すると共に信頼ある学校づくりを進める。</p> <p>◎<b>防災・復興教育、主権者教育の推進</b></p> <p>①大震災津波を風化させないための復興教育の取り組みをとおして、防災、減災を自分のこととして考え、行動できる生徒を育成する。 ②生徒の成長段階や特徴に留意しながら、非常時の状況下で最善を尽くし、自分の命を守り、他者を巻き込む率先避難者となれるよう、避難訓練を工夫する。 ③選挙権を有する者の年齢が満18歳以上に引き下げられたことを十分に理解させ、主体的に考えて判断できる生徒を育成する。</p>			
指標	<p>○<b>出席率</b> 前年度比 5%上昇</p> <p>○<b>単位修得率</b> 定時制80%以上 通信制85%以上</p> <p>○基礎力確認調査(高2)意識調査で次のように答えた生徒の割合 ・現在の高校生活に満足している 80% ・自分によいところがある 60% ・教科の勉強は大切だ 国 95% 数 87% 英 85% ・教科の授業で学習したことは役に立つ 国 95% 数 77% 英 85% ・教科の授業の内容がわかる 国 80% 数 55% 英 50%</p> <p>○<b>教員相互の参観等を伴う授業を行っている教員の割合</b> 80%</p> <p>○<b>校内研修会</b> 3回以上</p> <p>○<b>進路希望達成率</b> 定時制 90%以上 通信制 80%以上</p> <p>○<b>学校評価アンケート各項目で「満足・やや満足」をあわせて80%以上</b></p> <p>○<b>全国大会3種目入賞</b></p> <p>○<b>復興・防災に係る活動の実施及び事業評価で肯定的な評価をした生徒の割合</b> 75%</p> <p>○<b>最新情報の発信</b> ・<b>学校HPの毎月更新</b></p>			